教育プログラム・コースの概要

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科
教育プログラム・コース名	順天堂大学　がん医療専門人材養成コース②（正規課程）
対象職種・分野	医学研究科博士課程大学院生
修業年限（期間）	４年
養成すべき人材像	現在のがん診療は、分子生物学をはじめとした様々な先端的技術により解明された腫瘍生物学を知識基盤とし、その上に様々な治療モダリティー（外科治療、薬物療法、放射線療法、疼痛緩和療法）が細分化され開発されてきた。そのため、本コースは、幅広い腫瘍生物学的知識と集学的治療体系の全容の理解、習得を基本基盤とし、選択必修として行う参加大学間連携プログラムを介して、いまだ臨床現場で解決できていない臨床的課題に意欲的に取り組める人材を養成する。本コースでは、「テーマ②：がん予防の推進を行う人材」の養成を行う。
修了要件・履修方法	本教育プログラム・コースで定める科目について30単位以上を履修すると同時に、参加大学で共同で行う連携プログラムに参加（選択必修）して必要単位を取得し、最終的に学位審査に合格すること。
履修科目等	＜必修科目＞Unit1(基礎教育)： ベーシックコース（2単位）、リサーチサポートコース（1単位）、アドバンスドコース（1単位）；Unit2(実践教育）：腫瘍医学（1単位）；Unit3(レクチャーシリーズ）：大学院特別講義（がんプロ認定講義）5講義を選択（日本語講義3、英語講義2）（0.1単位/講義）、全国がんプロe-Learning 共通講義（0.1単位/コマ）；Unit4(専門コース）：がんプロ専門講義(4単位)、がんプロ専門演習(8単位)、がんプロ専門実習(20単位)；Unit5(専門研究)：がんプロ研究指導（論文指導）(8単位) ＜選択必修科目＞連携校合同プログラム(1単位）、連携校合同プログラムで行う講義について順天堂の必修科目に該当する講義については単位互換を認める。
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医、血液専門医、小児血液・がん専門医、造血細胞移植認定医、放射線科治療専門医
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がん診療は治療モダリティーの細分化、専門化が進んできており、患者に最適な集学的治療を提供する上では、様々な診療科、職種が参加してそれぞれの専門性を発揮できるチーム医療が重要となってきている。本コースは、チーム医療を行っていく上で共通である幅広い腫瘍生物学的知識と集学的治療体系の理解を基本基盤として、さらに参加大学との連携プログラムによる交流を介して、チーム医療を理解できるものとなっている。参加大学が近隣に存在することから可能な連携プログラムでもあるが、参加者の利便性も考慮して適宜オンラインでの参加も可能とする。
指導体制	【主たる指導スタッフ】加藤俊介（臨床腫瘍学　教授）、髙橋和久（呼吸器内科学 教授）、井関雅子（麻酔科学・ペインクリニック講座 教授）、髙木辰哉（整形外科・緩和ケアセンター 先任准教授）、鹿間直人（放射線治療学講座 教授）、八尾隆史（人体病理病態学講座 教授）、林 大久生（人体病理病態学講座 准教授）、田部陽子（次世代血液検査医学 教授）、石川敏昭（臨床腫瘍学 准教授）、新井正美（臨床遺伝学研究室 教授）、宿谷威仁（呼吸器内科学 准教授）、渡邉 純一郎（乳腺腫瘍学講座 教授）、安藤美樹（血液内科 教授）、藤村純也（小児科 准教授）、木村利美（薬剤部 部長）、篠原光代（歯科口腔外科 先任准教授）
修了者の進路・キャリアパス	以下の資格を取得し、地域の中核病院やがん拠点病院で中心的役割を担う。 がん薬物療法専門医、がん化学療法認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、血液専門医、小児血液・がん専門医、造血細胞移植認定医
受入開始時期	令和6年4月

受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	5	5	5	5	5	25

受入目標人数設定の考え方・根拠	本学大学院医学研究科では年180名の博士課程進学者がおり、大学院生の受け入れ実績やこれまで志願者から、受け入れ目標人数を5人/年と設定した。

履修者数 ※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1					1